

10.保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - 保証書をご提示いただけない場合。
 - 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - 譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書		サンワサプライ株式会社	
型番: PSD-C200AT	シリアルナンバー:		
お客様・お名前・ご住所・TEL			
販売店名・住所・TEL			
担当者名			
保証期間 1年	お買い上げ年月日	年	月 日

最新の情報はWEBサイトで <https://www.sanwa.co.jp/>



本製品の詳細情報は
こちら!

スマホで読み込むだけで
簡単にアクセス!



弊社サポートページはこちら!

■サポート情報 ■Q&A(よくある質問)
■ソフトダウンロード ■各種対応表
など、最新情報を随時更新しています。

ご質問、ご不明な点などがありましたら、ぜひ一度弊社WEBサイトをご覧ください。

サンワサプライ株式会社

ver.1.0

岡山サブライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サブライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所 / 〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 パストラルビルN8 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所 / 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-6-37 TM仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所 / 〒453-0014 愛知県名古屋市中村区則武1-16-18 CUBE MEIEKI TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-5-36 ONEST新大阪スクエア TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
広島営業所 / 〒732-0828 広島県広島市南区京橋町7-18 新井ビル TEL.082-264-2716 FAX.082-264-2717
福岡営業所 / 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-3博多八百治ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

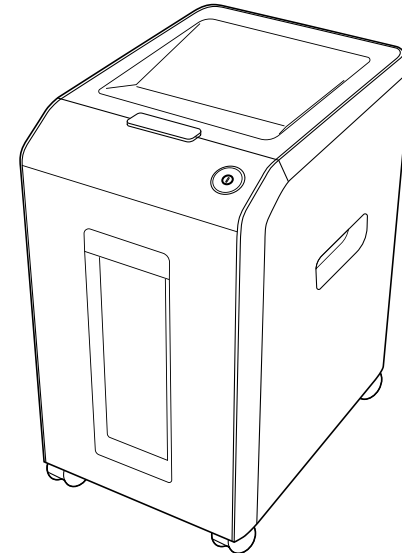
CE/AE/KiDaNo

SANWA
SUPPLY

PSD-C200AT

保証書付

オートフィードシュレッダー (200枚 ミニクロスカット) 取扱説明書



この度は、オートフィードシュレッダー(200枚 ミニクロスカット)「PSD-C200AT」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前によくご覧ください。読み終わったあとこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

①シュレッダー 1台 ②取扱説明書・保証書(本書) 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

はじめに	P.2	1.本製品ができること 細断能力 主な特長
	P.3	2.安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)
	P.5	3.各部の名称とはたらき
基本の使い方	P.9	4.使用上の注意とお願い
	P.10	5 使用方法 準備をする 用紙の細断方法
	P.10	A.オートフィード(自動給紙細断)で細断
	P.13	B.マニュアルフィード(手差投入細断)で細断
	P.14	6 こんなときは 紙詰まりを起こしたとき
必要なとき	P.14	A.オートフィード(自動給紙細断)
	P.16	B.マニュアルフィード(手差投入細断)
	P.17	ダストボックスがいっぱいになったとき
	P.17	7.お手入れ方法
	P.18	8.仕様
	P.18	9.故障かな?と思ったら...
P.19	10.保証規定	

1.本製品ができること

本製品は用紙類の細断専用機です。

! はがき、OHPシート・新聞紙・カーボン紙・感熱紙・ポリ袋・布・ビニール・フィルムのほか、ラベル用紙・シールなどの糊の付いたものは投入しないでください。

細断能力

紙詰まりなどによる故障を避けるために、下記の条件を必ず守ってください。

	オートフィード(自動給紙細断)		マニュアルフィード(手差投入細断)
	綴じていないA4用紙	綴じたA4用紙	A4用紙
定格細断枚数※1	200枚	10枚	12枚
最大枚数(1回)			14枚
規定素材	A4コピー用紙(64g/mf) ※はがき、シール、フィルム、OHPシート・ビニール、布などは細断できません。		
連続運転時間	約60分		約30分
カットタイプ	ミニクロスカット(4×12mm)		

※1:連続運転時間内において連続して同時に細断できる枚数。

※紙質や湿度等により細断枚数は異なります。

※用紙投入口(A4サイズ)より大きな紙を細断する場合は、投入口より小さい幅に折ってから細断を開始してください。(定格細断枚数を超えないようにしてください。2ツ折/1枚=2枚)
(オートフィード(自動給紙細断)は折りたたんだ用紙は対応していません)





主な特長

オートカットオフ 連続運転を続けたり、用紙がかみこんだ状態で放置すると、自動的に停止します。その際は、主電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜き、そのまま放置してください。約60分後に再び細断が可能になります。	インターロックスイッチ キャビネットドアやトップカバーががしっかりと閉じられていない場合(インターロックスイッチが押されていない場合)、安全のため本製品は作動しません。	オートリバース マニュアルフィード(手差投入細断)で定格細断枚数以上の用紙が投入されたとき、自動的にカッターが逆回転して紙を押し戻します。その後、用紙を定格細断枚数以内に細断してください。	オーバーヒートプロテクション 連続運転を続けてモーターの温度が上昇した際にこの機能が働き、モーターが停止し、オーバーヒートによる故障を防ぎます。	静音モデル モーター音は細断中でも約65dBと、騒音が気になりにくい静音設計です。
高速細断 細断速度はオートフィード:約2m/分、マニュアルフィード:約2m/分。オートフィード(自動給紙細断)でA4用紙200枚の細断は、約7分で完了します。	ホッチキス&クリップ細断対応 ホッチキスは10号針まで、ゼムクリップは全長32mmまで対応しています。※オートフィードはA4用紙10枚、マニュアルフィードはA4用紙14枚を超える枚数を綴じた書類は入れないでください。	独立型ダストボックス 大容量の約32Lダストボックスで、細断ゴミが溜まったら取外して捨てられる独立型です。		

2.安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)











この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、様々な表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警告	内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	内容を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性または財産に損害が発生する可能性がある内容を示しています。
 禁止	行ってはいけない「禁止」行為の内容を示しています。
 指示	「指示」に従って行っていただく強制の内容を示しています。

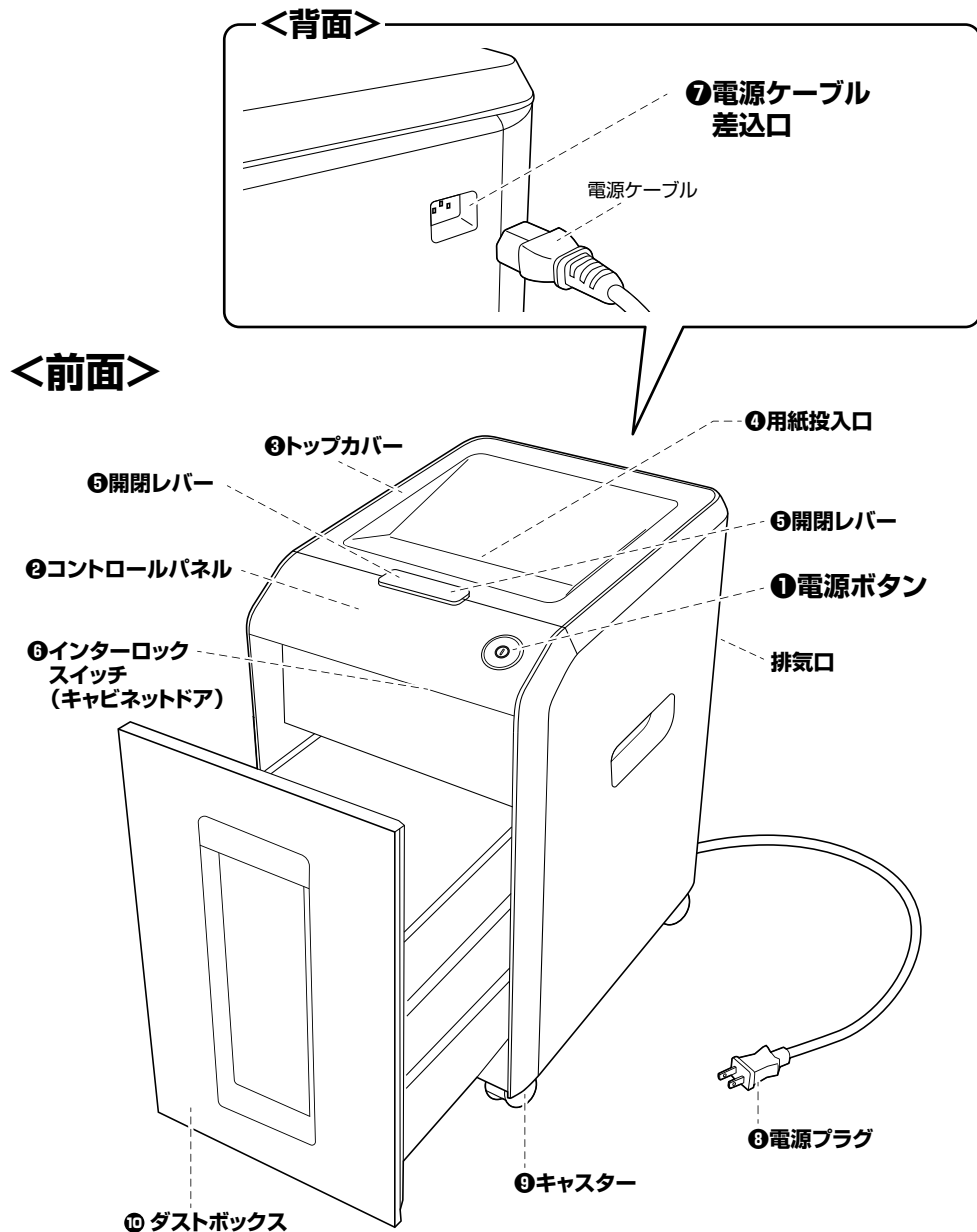
 警告	
 幼児、お子様には絶対に触れさせない。 ケガなどの事故につながる恐れがあります。	 投入口に手や指を入れない。 ケガなどの事故につながる恐れがあります。
 投入口に髪の毛、ネクレスなどを近づけない。 引き込まれてケガなどの事故につながる恐れがあります。	 投入口にネクタイなどの衣類を近づけない。 引き込まれてケガなどの事故につながる恐れがあります。
 可燃性スプレー(エアダスター等)は使用しない。 機械内部やダストボックスにガスが残留し、引火・爆発の恐れがあります。	 投入口をのぞきこまない。 細断ゴミが飛び散り、ケガなどの事故につながる恐れがあります。
 細断物を持ったまま細断しない。 細断物と一緒に引き込まれ、ケガなどの事故につながる恐れがあります。	 分解・修理・改造は絶対にしない。 火災や感電の原因となります。修理は販売店または弊社営業所にご依頼ください。
 高い場所や不安定な場所には設置しない。 転倒して、故障やケガなどの事故につながる恐れがあります。	 本体の上に乗ったり、腰掛けたりしない。 転倒して、故障やケガなどの事故につながる恐れがあります。
 表示された電源・電圧(100V)以外で使用しない。 火災や感電の原因となります。	 高温になる場所や湿気、ホコリが多い場所に設置しない。 火災や感電の原因となります。

 警告	
 異常な状態(発煙・異臭など)のまま使用しない。 火災や感電の原因となります。主電源をOFFにして、電源プラグを抜いてから、販売店または弊社営業所にご相談ください。	 調理台や加湿器の近くなど、油煙や湿気が多い場所に設置しない。また、水をかけない。 火災や感電の原因となります。
 本体が転倒、落下などにより破損した場合は使用を中止する。 火災や感電の原因となります。販売店または弊社営業所まで修理をご依頼ください。	 異物(金属・水など)が入った場合は電源を切り、電源プラグを抜く。 火災や感電の原因となります。販売店または弊社営業所まで修理をご依頼ください。
 電源コード・プラグが破損するようなことはしない。 ・電源コードの上にものを乗せない。 ・加工したり、傷つけたりしない。 ・無理に曲げたり、ねじったりしない。 ・無理に引っ張らない。 ・熱器具に近づけない。加熱しない。 ・水に濡らさない。 火災や感電の原因となります。	 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。 火災や感電の原因となります。
	 電源プラグを抜く時は電源コードを引っ張らない。 ショートして火災や感電の原因となります。
	 電源スイッチを中途半端な位置で止めない。 火災や感電の原因となります。

 注意	
 ぬれた手で電源プラグにさわらない。 感電やケガの原因となります。	 長時間使用しない時は、電源プラグを抜く。 漏電や火災の原因となります。
 お手入れ・点検の際や細断ゴミの廃棄時は、電源プラグを抜く。 感電やケガの原因となります。	 移動させる際は、電源プラグを抜く。 電源コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
 本体の上にものを置かない。 倒れたり、落下してケガの原因となります。また誤作動、故障の原因となります。	 直射日光のあたる場所に設置しない。 誤作動、故障の原因となります。
 ダストボックスが満杯の状態では逆回転させない。 誤作動、故障の原因となります。	 クリップなどの金具は取除く。 本製品はホッチキスの針や小さなクリップを細断できますが、長くご使用いただくために、クリップなどはあらかじめ取除くことをおすすめします。
 必ず定格細断枚数、規定素材、連続運転時間を守る。(P.2) 誤作動、故障の原因となります。	

3.各部の名称とはたらき

シュレッダー 本体



①電源ボタン

電源のON・OFFできます。

②コントロールパネル

ボタンで操作します。
電源をON・OFFしたり、
エラー状況がわかる警告LEDがあります。

コントロールパネル 詳細→P.7

③トップカバー

オートフィード(自動給紙細断)で細断する
用紙をセットする際に開けます。
トップカバーが開いたままだと
細断は開始されません。

トップカバー 内部→P.8

④用紙投入口

細断する用紙を投入します。
細断能力に対応した細断物を投入してください。(P.2)
細断センサーの前を通過するように
用紙を投入してください。
オートフィード(自動給紙細断)中は
同時に使用できません。

⑤開閉レバー

持ち上げてトップカバーを開けられます。
万一の場合は、トップカバーを開けて
細断を緊急停止させてください。

⑥インターロックスイッチ (ダストボックス)

ダストボックスを開めることにより、インター
ロックスイッチが押された状態になります。
ダストボックスがしっかりと閉じられていない
場合(インターロックスイッチが押されていない
場合)は、安全のため本製品は作動しません。

⑦電源ケーブル差込口

本体の差込口に電源ケーブルを差し込んで
使用します。
(P.10～)

⑧電源プラグ

必ず家庭用AC100Vのコンセントに
直接接続して使用してください。
タコ足配線は避けてください。
タップや延長コードを使用しないでください。
(P.10～)

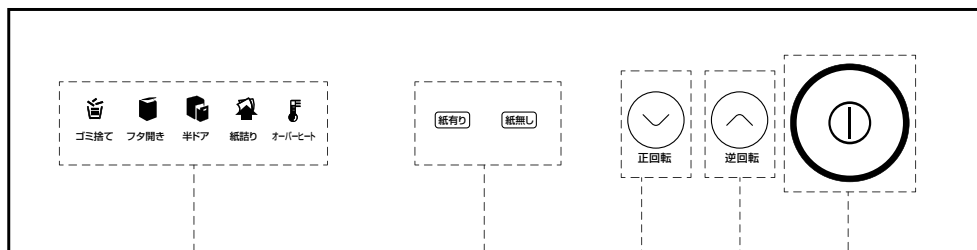
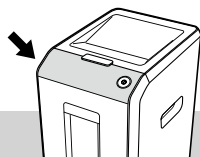
⑨キャスター

前2輪はロック付きです。
操作中は絶対に動かさないでください。

⑩ダストボックス

細断ゴミを収容します。
廃棄する際は引き出して細断ゴミを取出します。
各地方自治体の法令に従って分別し、
廃棄してください。
細断ゴミは溜まりすぎないようにこまめに
取出してください。(P.17)

②コントロールパネル 詳細(上から見た図)



①警告LED

⑫紙有り・無しLED

⑬正回転ボタン

⑭逆回転ボタン

⑮電源ボタン

①警告LED

点灯中は安全のため、本製品は作動しません。

ゴミ捨て 細断ゴミがダストボックスにいっぱいになると点灯します。細断ゴミを取除いてください。(P.17)

フタ開き トップカバーが閉められていない場合に点灯します。

半ドア キャビネットドアが正しく閉められていない場合に点灯します。最後までしっかり閉めてください。

紙詰り 細断物が詰まった場合、投入口に細断物が残っている場合に点灯します。詰まった細断物を取除いてください。(P.14~)

オーバーヒート 細断作業が続き、モーターの温度が上昇した場合に点灯します。点灯した場合は約60分休止してください。

⑫紙有り・無しLED

オートフィード用のトレイの中に未細断の紙が残っていれば「紙有り」、空の場合「紙無し」が点灯します。

⑬逆回転ボタン

電源ONの状態ですべて逆回転ボタンを押している間だけ、カッターが正転とは逆方向に作動します。紙詰まりの際などに使用します。停止後は自動モードになります。

【逆回転LED】

白色点灯：カッターが逆方向に作動中

⑭正回転

電源ONの状態ですべて正回転ボタンを押している間だけ、カッターが正転に作動します。停止後は自動モードになります。

【正回転LED】

青色点灯：カッターが作動中

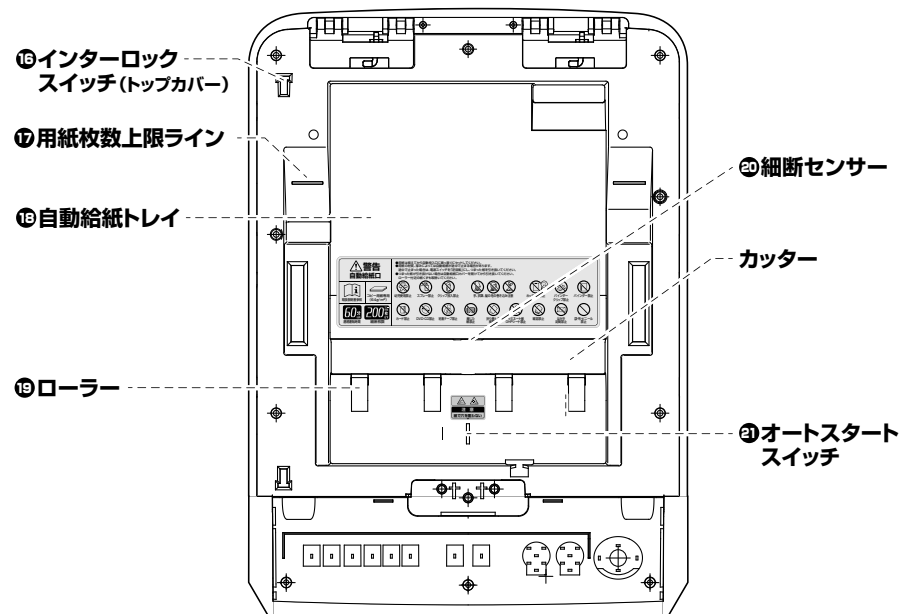
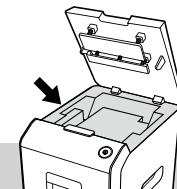
⑮電源ボタン

電源ボタンを押すたびに電源がON・OFFになります。

【電源LED】

- 白色点灯：電源ON時(使用可能な状態)
- 消灯：電源OFF

③トップカバー 内部(開けて上から見た図)



⑯インターロックスイッチ(トップカバー)

⑰用紙枚数上限ライン

⑱自動給紙トレイ

⑲ローラー

⑳細断センサー

カッター

㉑オートスタートスイッチ

⑯インターロックスイッチ(トップカバー)

トップカバーを開めることにより、インターロックスイッチが押された状態になります。トップカバーがしっかりと閉じられていない場合(インターロックスイッチが押されていない場合は、安全のため本製品は作動しません。

⑰用紙枚数上限ライン

自動給紙トレイにセットするA4用紙の高さの目安です。用紙枚数上限ラインの下に差込みきれない場合は、細断容量がオーバーしています。枚数を減らしてセットしてください。

⑱自動給紙トレイ

オートフィード(自動給紙細断)で細断するA4用紙をセットします。(P.10) マニュアルフィード(手差投入細断)は同時に使用できません。

⑲ローラー

自動給紙トレイにセットした用紙を取込みます。

⑳細断センサー

細断物が通過するとカッターが正回転作動し、細断を開始します。細断センサーの前を通過するように細断物を投入してください。

㉑オートスタートスイッチ

自動給紙トレイにセットした用紙を感知します。

4. 使用上の注意とお願い



投入口にネクタイなどの衣類を近づけない。
引き込まれてケガなどの事故につながる恐れがあります。



分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガをすることがあります。



使用前、使用後に異物が混入していないかご確認ください。



インターロックスイッチに手を触れないでください。



インターロックスイッチの周囲をきれいに保ってください。



対応物以外のものは入れないでください。
金属や衣類は、カッターに損傷をあたえ、故障の原因となります。



湿った紙やカーボン紙、シールのついた用紙は入れないでください。
カッターに細断ゴミがからまり、細断性能を低下させます。



投入口を間違えて細断物を投入しないでください。
故障やケガをすることがあります。



必要以上に逆回転させないでください。
細断ゴミが投入口に溜まり、故障の原因となります。



使用後は必ず主電源をOFFにして、コンセントから電源プラグを抜いてください。



キャビネットドア・トップカバーがしっかり閉まっていない状態では、安全装置により本製品は作動しません。

重要



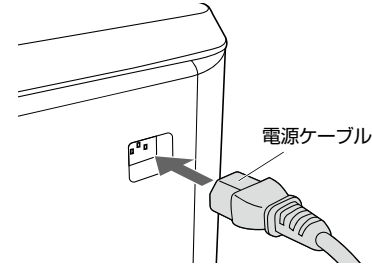
必ず定格細断枚数、規定素材、連続運転時間を守ってご使用ください。(P.2)

モーターを傷めたり、故障の原因となります。

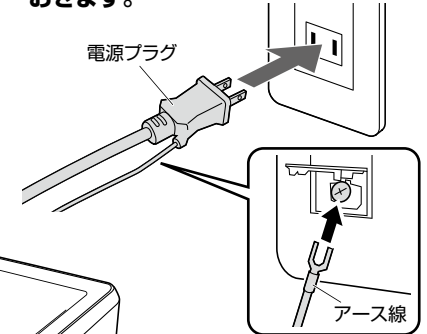
5 使用方法

準備をする

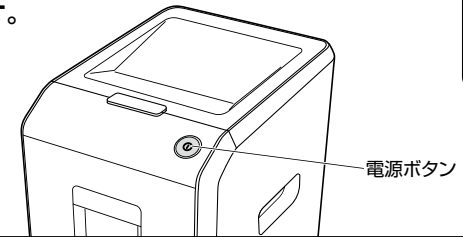
1 本体に電源ケーブルを差し込みます。



2 電源プラグをコンセント(AC100V)に差し込みます。アース線を取付けできるコンセントにはアース線を接続しておきます。



3 電源ボタンをONにします。
ボタンを押してONにしてください。



- 必ずコンセントに近く、電源プラグを容易に取外しできる場所に設置してください。
- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
- 電源プラグとコンセントの間にタップなどを使用しないでください。
タコ足配線などで定格を越えると、発熱して火災の原因になります。

用紙の細断方法

用紙の細断方法は2種類あります。

- A.オートフィード(自動給紙細断)→P.10~
- B.マニュアルフィード(手差投入細断)→P.13

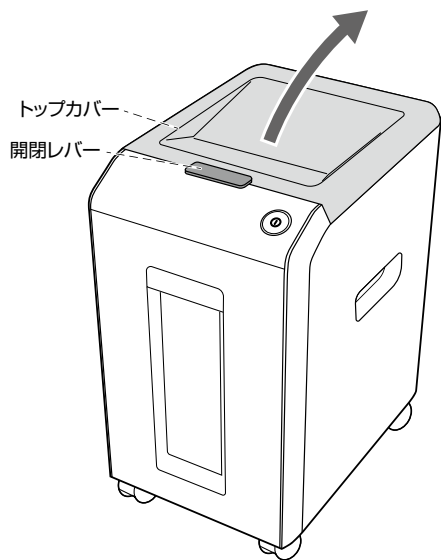
A.オートフィード(自動給紙細断)で細断

用紙をセットするだけで、自動給紙されて一度に最大200枚を約2分で細断できます。

オートフィード(自動給紙細断)で細断できないもの



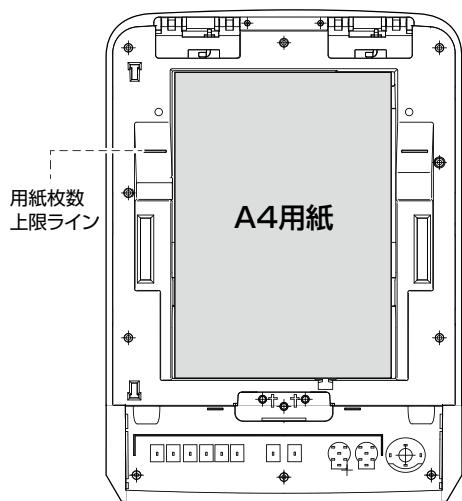
1 開閉レバーを持ち上げて
トップカバーを開けます。



2 自動給紙トレイに細断する用紙をセットします。

用紙の端を自動給紙トレイの手前にそろえ、平らになるようにセットしてください。

<トップカバー内部(上から見た図)>



用紙をセットするときの注意事項

❌ ホッチキスの針の隙間を上向きにしてセットしたり、大型ホッチキスを投入しないでください。



ホッチキスの向きに注意し、6mm以上の大型ホッチキスは投入しないでください。

❌ ホッチキス・クリップエリアにホッチキスの針、クリップが入るようにセットしてください。

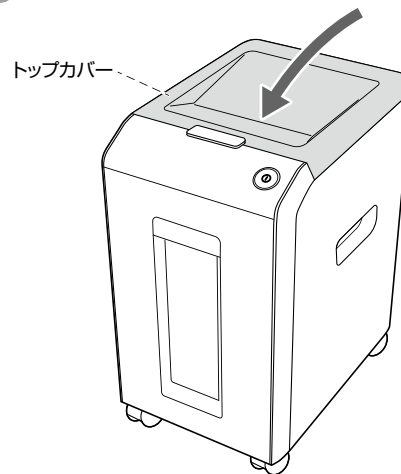


ホッチキスの針・クリップで綴じた書類は金具部分がホッチキス・クリップエリア内に入るように、向きに注意してセットしてください。



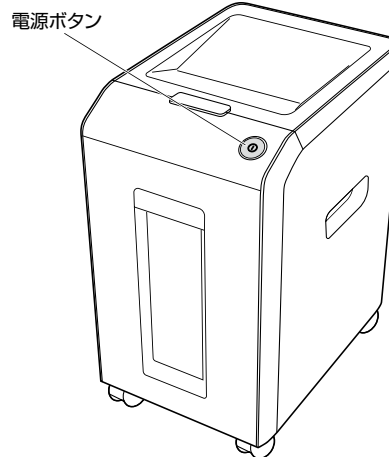
- 定格細断枚数以上セットしないでください。
- A4サイズより小さい用紙はA4サイズの用紙の間に挟んでください。
- 用紙が用紙枚数上限タブを超えないように注意してください。
- マニュアルフィード(手差投入細断)と同時使用はしないでください。
- ディスク類、カード類は細断できません。マニュアルフィード(手差投入細断)で細断してください。(P.14)

3 トップカバーを閉めます。



トップカバーが正しく閉められていないと、警告LEDの「フタ開き」が点灯し、細断が開始されません。

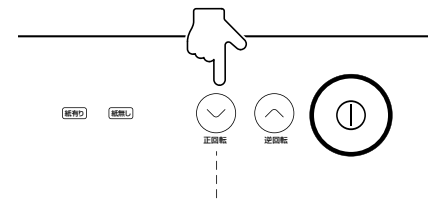
5 細断が終わったらカッターが停止します。
電源ボタンを押してOFFにします。



4 正回転ボタンを押すと
細断が自動で開始されます。

電源LEDが白色点灯、正回転LEDが青色点灯します。

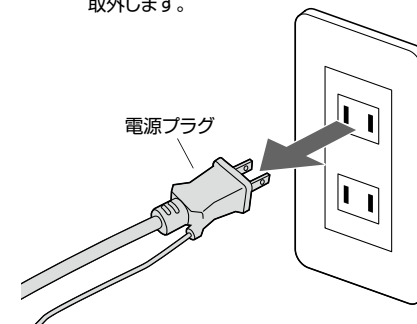
<コントロールパネル(上から見た図)>



正回転ボタン

6 電源プラグをコンセントから抜きます。

※アース線を取付けている場合はアース線も取外します。



B. マニュアルフィード(手差投入細断)で細断

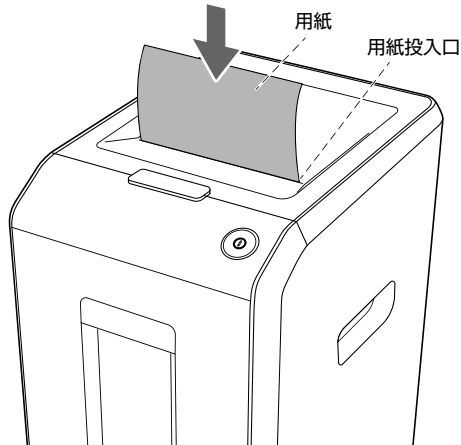
用紙投入口に手で用紙を投入して細断することができます。

マニュアルフィード(手差投入細断)で細断できないもの



大型ホッチキス 禁止
 バインダー クリップ禁止
 バインダー 禁止
 ラミネート紙 OHPシート禁止
 自動投入口との同時使用禁止
 カード 禁止
 DVD・CD 禁止
 雑誌禁止
 はがき 封筒禁止
 粘着テープ 禁止
 袋・布・ビニール 禁止

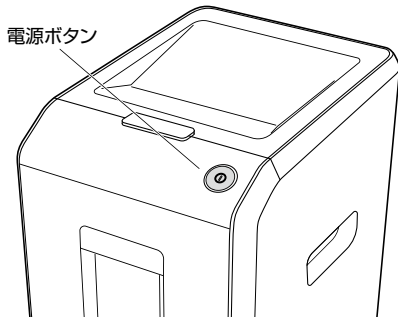
- 1 用紙投入口に細断する用紙を
まっすぐに入れ、すぐに手を離します。
細断物が通過し終わるとカッターが停止します。



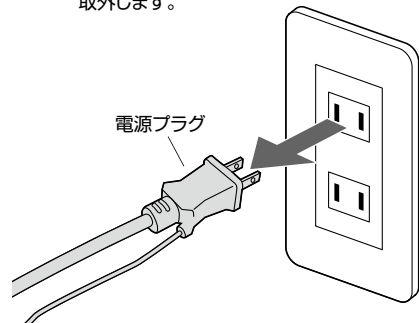
注意

- カッターの中央付近にある細断センサーが感知できるように、まっすぐ入れてください。
- 定格細断枚数を超えないでください。
- 用紙の幅が投入口よりも広い用紙を折りたたんで投入する場合、紙厚が増しますので、その分一度に細断できる枚数が減ります。
- 定格細断枚数より多い用紙の投入で故障する場合は、保証期間内であっても有償期間修理になりますのであらかじめご注意ください。
- 自動給紙トレイとの同時使用はしないでください。

- 2 細断が終わったらカッターが停止します。
電源ボタンを押してOFFにします。



- 3 電源プラグをコンセントから抜きます。
※アース線を取付けている場合はアース線も
取外します。



6 こんなときは

紙詰まりを起こしたとき

ご使用状況により紙詰まりが起きると、紙詰まりの警告LEDが点灯し、カッターの回転が止まります。

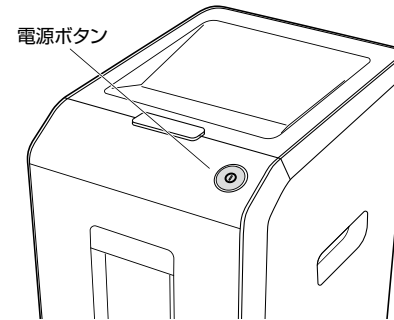


注意

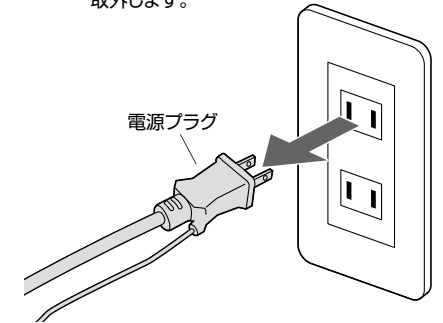
- 頻繁に正回転・逆回転を繰り返さないでください。
- 紙詰まりを起こしたままの状態では置かないでください。
※モーターに負担がかかり、故障の原因になります。

A. オートフィード(自動給紙細断)

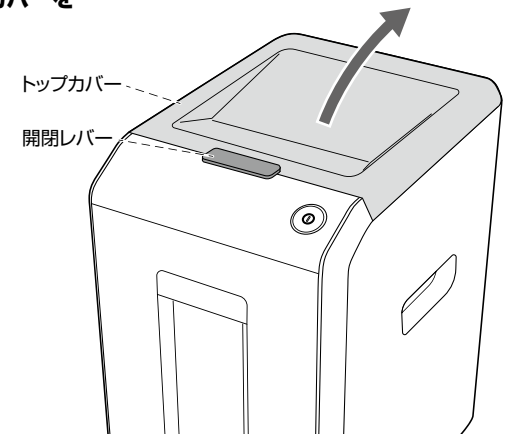
- 1 細断が終わったらカッターが停止します。
電源ボタンを押してOFFにします。



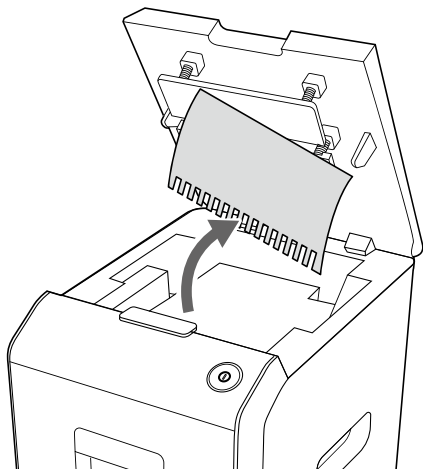
- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。
※アース線を取付けている場合はアース線も
取外します。



- 3 開閉レバーを持ち上げてトップカバーを
開けます。

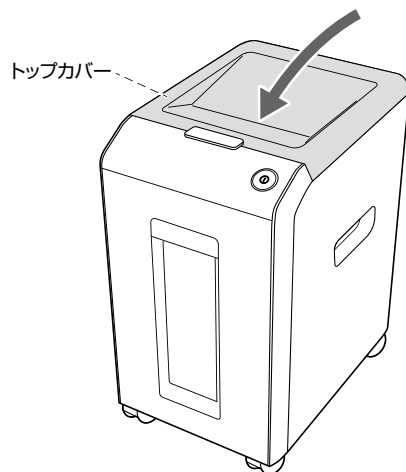


4 詰まった用紙などをできる限り
取除きます。



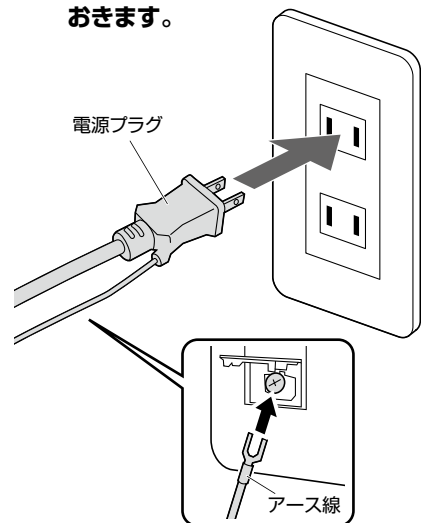
⚠ 注意 カッターに触れてケガを
しないようご注意ください。

5 トップカバーを
閉めます。

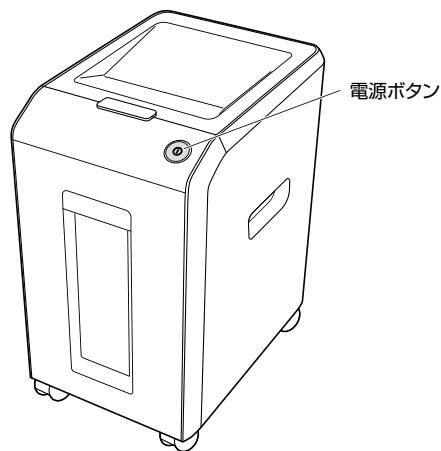


⚠ 注意 トップカバーが正しく閉められて
いないと、警告LEDの「フタ開き」
が点灯し、作動しません。

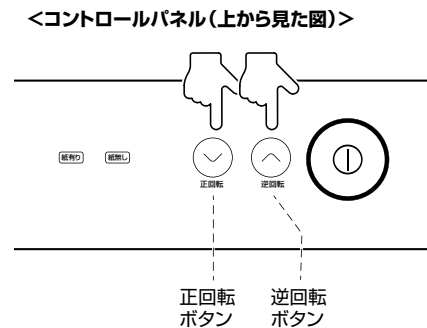
6 電源プラグをコンセント(AC100V)に
差し込みます。アース線を取付けできる
コンセントにはアース線を接続して
おきます。



7 電源ボタンをONにします。
ボタンを押してONにしてください。



8 正常に動作するまで逆回転ボタン、
正回転ボタンを交互に押し
カッターを動かします。



9 紙詰まり警告LEDが消灯したら、
用紙を自動給紙トレイに入れて再び細断を開始してください。(P.10)

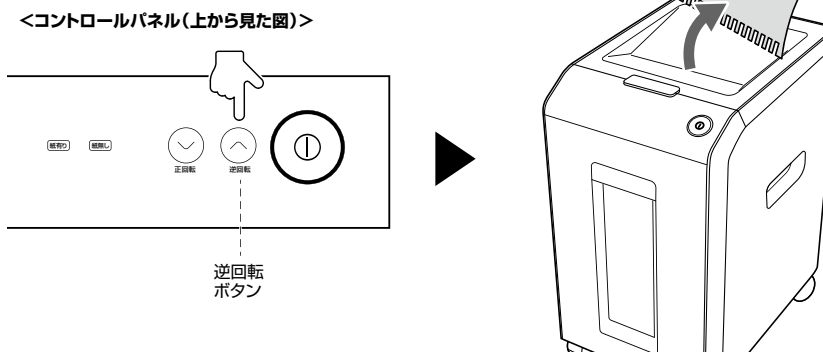
⚠ 注意 細断能力に対応した細断物を投入してください。(P.2)



紙詰り

B. マニュアルフィード(手差投入細断)

1 逆回転ボタンをタッチして詰まった用紙を引き出します。



⚠ 注意 逆回転の際、以前細断した用紙が出てくる場合がありますが、製品の異常ではありません。

2 紙詰まり警告LEDが消灯したら、
用紙を自動給紙トレイに入れて再び細断を開始してください。(P.13)

⚠ 注意 細断能力に対応した細断物を投入してください。(P.2)

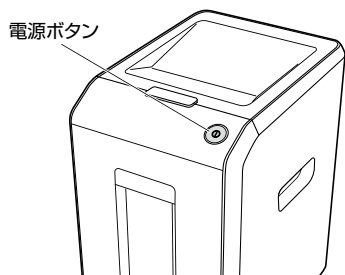


紙詰り

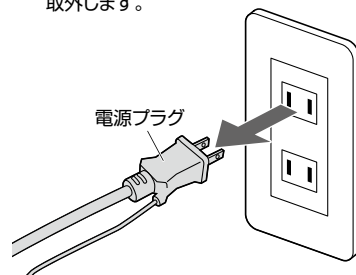
ダストボックスがいっぱいになったとき

ダストボックスが細断ゴミでいっぱいになると、ゴミ捨てる警告LEDが点灯し、カッターの回転が止まります。

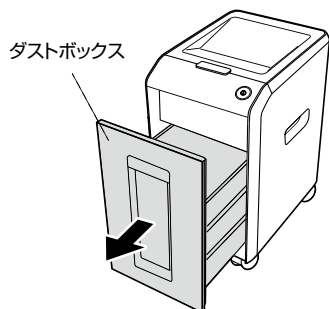
1 細断が終わったらカッターが停止します。
電源ボタンを押してOFFにします。



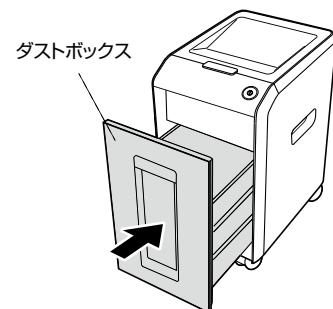
2 電源プラグをコンセントから抜きます。
※アース線を取付けている場合はアース線も
取外します。



3 ダストボックスを引き出し、
細断ゴミを捨てます。



4 ダストボックスを元に戻します。



- 注意**
- インターロックスイッチを押す突起部などを破損しないように丁寧に取扱ってください。
 - 各地方自治体の法令に従って分別し、廃棄してください。



注意 ダストボックスがしっかりと閉まっていないと半ドアの警告LEDが点灯し、安全のため本製品は作動しません。

7.お手入れ方法

本製品の外側の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。
汚れがひどい時は、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。



- 注意**
- お手入れの際は、電源ボタンをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
感電やケガをすることがあります。
 - ガンリン・ベンジン・シンナー・磨き粉などでは絶対に拭かないでください。
ひびわれ、変形、変色、故障の原因となります。

8.仕様

細断物	A4コピー用紙	投入幅	220mm
細断形状	用紙/4×12mm ミニクロスカット		
定格細断枚数※1	A4用紙(オートフィード)/200枚、 A4用紙(マニュアルフィード)/12枚、		
最大細断枚数(1回)	A4用紙(マニュアルフィード)/14枚		
細断速度	オートフィード/約2m/分、マニュアルフィード/2m/分		
連続使用時間	オートフィード/約60分、マニュアルフィード/約30分 ※60分休止後再運転可		
モーター音	空回り/約65dB、細断中/約65dB	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	350W	ダストボックス容量	約32L
サイズ・重量	W350×D480×H545mm・約17kg		

※1:連続運転時間内において連続して同時に細断できる枚数。

※紙質や湿度等により細断枚数は異なります。

9.故障かな?と思ったら...



注意 点検の際は、電源ボタンをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電やケガをすることがあります。

状況	調べるところ	直し方
動かない	電源プラグが正しくコンセントに入っていますか?	電源プラグを正しくコンセント(AC100V)に入れ直してください。(P.10)
	電源ボタンがOFFになっていませんか?	電源ボタンを押してONにしてください。(P.10)
	細断物が投入口の細断センサーを通過していますか?	それぞれの投入口にある細断センサーが感知できるようにまっすぐに投入してください。(P.8)
	ダストボックス、トップカバーがしっかりと閉まっていますか?	しっかりと閉まっていないと安全装置が働き作動しません。最後まできちんと閉めてください。
	紙詰まりを起こしていませんか?	自動の場合は逆回転ボタンと正回転ボタンを交互、手動の場合は逆回転ボタンを押し、詰まった用紙を取除いてください。(P.15~)
細断中に止まった または 細断できない	長時間の使用により、オートカットオフ機能が働いていませんか?	連続運転を続けたり、用紙がかみこんだ状態で放置すると、自動的に停止します。その際は、電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜き、そのまま放置してください。約60分後に再び細断が可能になります。
	用紙を多く入れすぎていませんか?	定められた枚数以下にして細断してください。(P.2)
	投入口の幅より大きな用紙を入れていますか?	投入幅口の幅より小さな用紙で細断を行ってください。
	投入口に細断物が斜めに入られていますか?	投入口に細断物を、それぞれの投入方法に合わせてまっすぐに入れてください。(P.10~)
	クリップ・ピンなどをかみこんでいませんか?	一度逆回転させた後、電源をOFFにして、電源プラグを抜き、本体を逆さまにするなどして取除いてください。

※点検後、なお異常がある場合は販売店までご連絡ください。